

2021

令和3年度

# 家畜伝染性疾病サーベイランス年報



農林水産省消費・安全局動物衛生課

# 令和3年度 家畜伝染性疾病サーベイランス年報

農林水産省消費・安全局動物衛生課



## 巻頭言

我が国はこれまで、畜産業の振興を図り、国民の食生活を支えるために、数多くの家畜疾病に対応してきました。特に伝染性疾病に対しては、家畜伝染病予防法等の関係法令に基づき、口蹄疫や豚熱、BSE、高病原性鳥インフルエンザのような海外悪性伝染病の侵入・まん延防止を図るとともに、結核やブルセラ症のように長く国内で流行していた疾病の清浄化を達成してきました。

近年では、2018年9月に26年ぶりに我が国に発生した豚熱は、野生イノシシにおける感染を通じて感染地域が拡大し、飼養豚への豚熱ワクチン接種開始以降も散発的に発生が確認されており、引き続きのまん延予防と清浄化に向けて取り組んでいるところです。また、世界的な発生が報告されている高病原性鳥インフルエンザについては、我が国においても渡り鳥の飛来する秋季から春季にかけて発生があり、定期的な農場での検査や野鳥サーベイランスを活用した早期警戒を行なっているところです。このほかにも、ヨーネ病や牛伝染性リンパ腫のように、家畜の生産性の低下を引き起こす疾病への対応も課題となっています。

家畜の伝染性疾病の侵入・まん延を防止し、あるいは国内に存在する家畜の伝染性疾病を適切に制御し清浄化を目指すためには、疾病発生時の適切な通報に加え、平時から病原体の侵入状況を監視し、疾病の発生状況を把握することが重要です。このため、我が国では毎年、サーベイランス計画を作成し、種々の家畜伝染性疾病サーベイランスを実施しています。

この家畜伝染性疾病サーベイランス年報には、国内の家畜の伝染病の発生状況、サーベイランス結果のほか、最近の家畜疾病に関するトピックスを掲載しています。このように我が国の家畜衛生状況をわかりやすい形で公表することは、畜産物輸出を促進する観点からも重要と考えています。この年報が家畜衛生に携わる全ての皆様に活用されることを期待しています。

農林水産省消費・安全局動物衛生課長  
石川 清康